

埋文よこはま14



財団法人 横浜市ふるさと歴史財団 埋蔵文化財センター 平成 18 年9月1日発行

港北ニュータウン遺跡群のかたるもの

港北ニュータウン地域の遺跡の発掘調査が始まったのは、今から36年前の1970年のことです。1・2年目の予備調査と周辺地区分布調査を経て、1971年秋から本格的な調査が開始され、1989年になってようやく最後の調査が終了しました。建設地域内にあった遺跡は268か所、そのうち発掘された遺跡は、調査前に破壊された所や緑地として残される所などを除いた約200か所にのほります。調査によって膨大な量の遺構・遺物が発見され、新しくさまざまなことがわかりました。どんな成果があったのか、時代をたどってみてみましょう。

◆旧石器時代～縄文時代

ニュータウン地域に最初の足跡を残した人びとは2万年ほど前の旧石器時代の人びとです。17か所の遺跡が見つかり、礫群などが残されていました。

縄文時代では、おおよそ1万年ほど前、日本で最初に土器が作られた頃の花見山遺跡の発見が大きな話題を呼びました。ここでは隆線文土器と呼ばれる縄文時代草創期の土器と、有茎尖頭器に代表されるこの時期の石器が大量に発見されました。



三の丸遺跡の縄文時代住居跡群

この地域では、縄文

時代のムラが数多く発見されています。早期の前半に数軒の竪穴住居からなるムラが作られます。6千年ほど前の縄文時代前期では都筑区東側付近の低地のあたりまで海が入り込み、当時の海岸線に沿って点々と貝塚とムラが残されています。やがて中期になると爆発的に遺跡数が増え、多くのムラが作られるようになりました。一つのムラで一時期数十軒、合計300軒を超える住居が作られた大規模な遺

跡もあります。縄文時代後期になるとムラの規模は前の段階に比べ小さくなり、数も減って、晩期にはほとんど人が住まない地域となってしまいました。

ところで、私たちは中・後期のムラの中に掘立柱建物ほったてばしらが存在することを初めて明らかにしました。これはその後の縄文時代の集落研究に大きな影響を与えています。またムラ以外



花見山遺跡の土器

では全国的にも珍しい、湿地を渡るための木道もくどうが見つっています。

◆弥生時代

縄文時代の終わりには、いったん人が住まなくなりましたが、おおよそ2千年前の弥生時代中期になって、このあたりに稲作の技術を持った人びとが移住してきてムラが作られるようになりました。その代表的なものが大塚遺跡です。



空からみた大塚遺跡

大塚遺跡はムラの回りに堀を巡らした環濠集落と呼ばれるもので、さらに隣接した歳勝土遺跡では大塚ムラの人びとが葬られた方形周溝墓も見つかり、ムラと墓地のようすが完全な形でわかる貴重な遺跡として、国の指定史跡となりました。

◆古墳時代

古墳時代にはいり、豪族が支配する地域社会が出現します。ニュータウン地域では古い頃の古墳はなく、中期の頃の小古墳群や後期の古墳、横穴墓などがみつかり、ムラは荏田町にある矢崎山遺跡や新吉田町の権太原遺跡が大規模なもので、周辺からは古墳や横穴墓なども発見され、



矢崎山遺跡の古墳時代住居跡群

早瀬川流域の中心地であることがわかりました。

◆奈良・平安時代

奈良・平安時代になると近隣地域に武蔵国都筑郡の郡役所が作られました。田園都市線江田駅の近くの長者原遺跡で発見された遺構群が、郡庁や倉庫跡だと判明したのです。一方、この地域を見ると竪穴住居数軒で構成されたム



神隠丸山遺跡の方形館跡

ラが多い中、掘立柱建物が整然と並び北川表の上遺跡や、掘立柱建物と大型竪穴住居で構成された勝田原遺跡などもみつかり、神隠丸山遺跡では平安時代の館址が発見されました。また、西ノ谷遺跡では鍛冶工房跡が発見され、平安時代末から武器・武具を作っていたことがわかりました。

◆中世～近世

中世から近世にかけては、城跡、屋敷跡、墓地、鍛冶跡、塚、道路、井戸などが発見されています。城跡は茅ヶ崎城がほぼ完全な形で残されており、一帯が公園として整備されることになっています。屋敷跡は台坂遺跡、旧長沢宅遺



伊勢森原遺跡入定塚の墓壇

跡、西ノ谷遺跡等で見つかりました。墓は、上台の山遺跡で溝を巡らし区画内に蔵骨器を埋設する南関東初めての方形環濠墓が、上の山遺跡では多量の板碑を伴う大規模な中世墓地が発見され、中世墓地のあり方を示す好例となりました。変わったところでは生きながら埋められた入定塚が見つかり、信仰のための塚は、経塚、修法塚、十三塚、富士塚などがあります。

調査によって記録にも記されていない誰も知らなかったさまざまなものが発見されました。広い地域を綿密に掘りあげた例は全国的にもあまり無く、港北ニュータウン遺跡群の調査は地域の歴史を解明する上で、また考古学研究の上で貴重な資料を提供したと言えるでしょう。

調査にあたって私たちは、個々の遺跡の内容とそれらが相互にどのような関係にあるのかを明らかにする「遺跡群研究」をテーマとして進めてきました。整理・研究を進めている現在もこのテーマを追求していることに変わりはありません。

インフォメーション



地域の埋蔵文化財展 - 図書館展示 -

それぞれの地域で発見された遺跡を紹介します。土器などの遺物と写真パネルを展示します。

◆栄図書館

展示内容 笠間中央公園遺跡ほか

期 間 10月14日～22日 16日は休館
9時30分から 火～金曜は19時まで、
ほかは17時まで

交 通 JR 本郷台駅下車徒歩13分

所在地 栄区公田町 634-9

ミニ講座・展示解説

10月14日(土) 14時～15時30分

◆金沢図書館

展示内容 青ヶ台貝塚あおがだい、称名寺貝塚しょうみやうじほか

期 間 10月26日～11月5日
9時30分から 火～金曜は19時まで、
ほかは17時まで

交 通 京浜急行 金沢八景駅下車徒歩7分

所在地 金沢区泥亀 2-14-5

展示解説 11月5日(日) 11時～、14時～

◆中央図書館

展示内容 横浜の近代遺跡

期 間 2月14日～3月18日
9時30分から 火～金曜は19時まで、
ほかは17時まで

交 通 JR 桜木町駅下車徒歩約10分

所在地 西区老松町1

◆泉図書館

展示内容 下飯田林遺跡しもいだけやし、中ノ宮北遺跡なかのみやきたほか

期 間 2月上旬～中旬
9時30分から 火～金曜は19時まで、
ほかは17時まで

交 通 相模鉄道 いずみ野駅下車徒歩2分

所在地 泉区和泉町 6207-5

平成18年度横浜市指定・登録文化財展 横浜の遺跡展

平成18年度横浜市指定・登録文化財展とあわせて、港北ニュータウン地域で発見された月出松遺跡つきでまつを主として紹介します。期間中に港北ニュータウン遺跡群の発掘に携わった調査研究員が、展示遺跡に関する講演をおこないます。

期 間 12月9日(土)～1月14日(日)

会 場 横浜市歴史博物館企画展示室

観 覧 料 無 料

◆研究講座 「月出松遺跡つきでまつにみる縄文ムラ」

日 時 1月14日(日)午後2時から(受付は
30分前から)

会 場 横浜市歴史博物館講堂

定 員 170人、先着順

参 加 費 500円(資料代)

講 師 埋蔵文化財センター所長 坂上克弘





講座 横浜の考古学

— 港北ニュータウン遺跡群のかたるもの —



20年の歳月をかけて行われた港北ニュータウン地域の発掘調査。現在も整理作業が続けられ、全国有数の遺跡群の実態が明らかにされてきています。発掘調査を担当した調査研究員が港北ニュータウン遺跡群の内容と調査の意義について解説します。

第1回	11月1日	縄文土器の成り立ちと貝塚ムラ	— 旧石器～縄文時代前期 —	坂本 彰
第2回	11月8日	遺跡群が語る縄文社会	— 縄文時代中期～晩期 —	石井 寛
第3回	11月15日	横浜農業のはじまりと地域社会の形成	— 弥生時代 —	武井則道
第4回	11月22日	古代のムラと墓	— 古墳～平安時代 —	鈴木重信
第5回	11月29日	城・屋敷・農村の暮らし	— 中世～近世 —	坂上克弘

- ◇日 時 平成18年11月1日～29日、毎週水曜日連続5回 午後2時から3時30分
- ◇参加条件 5回参加できる方
- ◇参加費 資料代2,500円
- ◇会場 横浜市歴史博物館講堂
- ◇定員 140名
- ◇応募方法 往復葉書に住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号、「横浜の考古学」申込と明記の上、埋蔵文化財センターまで。
- ◇締切 9月11日申込受付～10月18日締切
- ◇申込・問合せ (財)横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター
〒224-0034 横浜市都筑区勝田町760
TEL 593-2406



埋蔵文化財センターのご案内

出土品や整理作業の様子を見学できます（予約が必要です）。埋蔵文化財や歴史に関する質問も歓迎します。

開所：午前9時～午後5時。土・日・祝日休み。

交通：東横線「綱島駅」より東急バス1番乗り場「勝田折返所」行終点。田園都市線「江田駅」より東急バス「綱島駅」行「勝田」下車。

ホームページアドレス <http://www.rekihaku.city.yokohama.jp/maibun/index.html>

*「埋文よこはま」は、横浜地域で発掘調査された遺跡や出土した遺物を紹介する広報紙です。

埋文よこはま 14

発行日 2006年9月1日

編集・発行 財団法人横浜市ふるさと歴史財団
埋蔵文化財センター

〒224-0034 横浜市都筑区勝田町760

TEL 045-593-2406

FAX 045-593-2403